

イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」の ブランド力強化と生産性向上

畜産研究部

1. 研究の背景

交雑種肥育牛による「豊後・米仕上牛」のブランド力を高めるため、作付け面積の増加傾向にあるイネWCS、飼料用米及びイネWCSに麦焼酎粕を混合した飼料（以下、混合飼料）を最大限に活用した給与体系の開発と、これによる高オレイン酸などの高付加価値牛肉生産の可能性について検討する。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- 育成期（生後3ヶ月齢）から肥育前期（生後13ヶ月齢）に混合飼料を給与する事で出荷時体重が増加。
- 飼料用米を約1t給与することで、脂肪交雑（BMSNo.）、締まりが向上。
- 給与全期間に飼料用米（約1t給与）給与に併せて、育成期（生後3ヶ月齢）から肥育前期（生後13ヶ月齢）に混合飼料を給与することでオレイン酸割合が上昇。

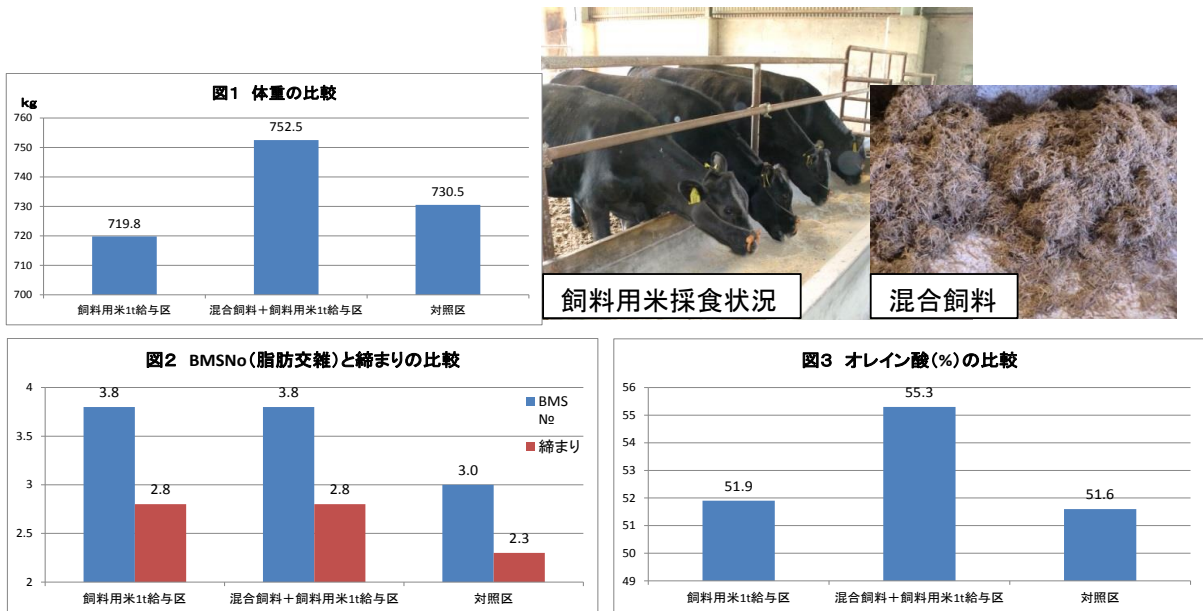
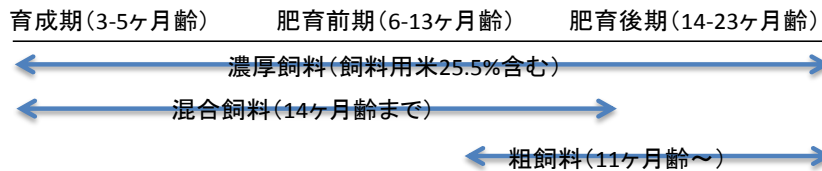


図4 給与体系



3. 期待される効果

- 安全安心な大分県産飼料の活用により、枝肉成績の向上が可能。
- オレイン酸含量を高めた高付加価値牛肉「豊後・米仕上げ牛」のブランド力向上が可能。

4. 担当機関連絡先

畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム
TEL: 0974-76-1219
住所: 竹田市久住町大字久住3989-1